

令和06年度 第3回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年12月19日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況
 - (1) 取扱件数
拾得、遺失、返還のいずれも増加（前年同期比）
 - (2) 取扱増加の要因
ア 来日外国人観光客の増加
イ 修学旅行、秋の行楽シーズンの旅行者増加
- 2 交通事故の発生状況
 - (1) 事故の傾向
ア 観光客増加に伴い商品搬入が増え、貨物車の関与する事故が増加
イ 自転車利用者、65歳以上の高齢者の関与する事故が増加
ウ 特定小型原付自転車（電動キックボード）の事故が増加
 - (2) 死亡事故の発生（8月2件）
ア 貨物車と自転車を運転する高齢者の事故（8月8日）
イ 貨物車と歩行者の事故（8月30日）
ウ 2件ともに上記（1）の傾向に合致
- 3 西の市警備実施結果
 - (1) 今年の祭礼
「三の酉」まで3日間開催され、参拝者の合計は令和で最多
 - (2) 警備中の取扱い
ア 28件（けんか・口論、迷子、傷病人、交通連絡、拾得物・遺失物等）
イ 窃盗1件（熊手の返納所から熊手を窃取）
- 4 管内治安の状況
 - (1) 地域警察活動
人流増加に伴い110番受理件数が増加（昨年同期比）
 - (2) 犯罪情勢
ア 犯罪の認知と検挙
イ 特殊詐欺について
(ア) 被害の状況
10月中に3件の被害発生
(イ) 被害3件の内訳
キャッシュカード手交、コンビニATMから振込、ネットバンクから振込
(ウ) 詐欺被害防止対策
・ キャンペーンやイベント、各種防犯講話等を通じた広報啓発
・ 家族、地域、街ぐるみでの防犯意識向上

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
闇バイト対策
 - (1) 闇バイトの勧誘手口
ア 入り口は「X（旧・ツイッター）」等のSNS
イ 具体的な仕事内容がよく分からない求人
ウ 誰でもできる（簡単）、高額報酬、ホワイト案件（安全）等の誘い文句
エ 免許証、パスポート等の写真入りの身分証明書を要求
オ 秘匿性の高いアプリへの誘導
 - (2) 被害防止に向けた広報啓発活動
ア 台東区及び台東4署による「生活安全のつどい」
イ 商店街と連携した特殊詐欺等被害防止キャンペーン
ウ 新聞折り込みチラシによる注意喚起
エ 警察官、防犯抑止アドバイザーによる戸別訪問
オ 高校生に対する防犯講話

- (3) 水際対策
 - ア 刑事組織犯罪対策課と生活安全課が連携した相談受理
 - イ 点検商法等の悪質業者への迅速な臨場と警告措置
 - ウ 闇バイト応募者、個人情報伝えてしまった当事者の保護対策
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 闇バイトの現状について
 - ア テレビをあまり見ない若者は、闇バイトに関する注意喚起の情報に触れることが少ないと思う。
 - イ 若者に限らず、高齢者、若い母親等、老若男女問わず、目先の高額報酬につられて安易に闇バイトへ手を出している現状が報道されていた。
 - ウ 闇バイトというネーミングは響きが軽いため、強盗や殺人に加担させられた上「捨て駒」にされる恐ろしさが認識されていない。
 - エ 警察に通報、相談した後の措置や対応が分からず心配で、警察に言い出しづらいのではないかと。
 - (2) 今後の対策について
 - ア 闇バイトに対する注意を喚起する広報啓発活動の強化が必要だ。
 - イ 警察だけに任せることなく、協議会委員としても、親子や家庭内で闇バイトについて話し合ってもらえるよう、地域活動等を通じて注意喚起していきたい。
 - ウ 協議会委員として、相談しやすい地域の環境作りに尽力していきたい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第2回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年09月26日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況
 - (1) 前年同期と比較して、拾得、遺失、返還のいずれも取扱件数が増加
 - (2) 来日外国人観光客の増加も要因
- 2 交通事故の発生状況
 - (1) 事故関与率の傾向
 - ア 観光客増加に伴う商品搬入増加により貨物車の関与する事故が著しく増加
 - イ 65歳以上の高齢者、自転車利用者の関与する事故も増加
 - (2) 死亡事故の発生
 - ア 8月中に2件発生
 - (ア) 自転車（高齢者の運転）と貨物車の事故（8月8日）
 - (イ) 歩行者と貨物車の事故（8月30日）
 - イ 事故の要因
 貨物車、自転車、高齢者と上記（1）の傾向に全て該当
- 3 隅田川花火に伴う警備実施結果
 - (1) 花火の火薬の燃えかすに起因する小規模な火災が発生したが実害なし
 - (2) 猛暑やパリ五輪開催の影響か、来場者は昨年より減少
- 4 管内治安の状況
 - (1) 地域警察活動
 人流増加に伴い、110番受理件数が昨年同期と比較して増加
 - (2) 犯罪情勢
 - ア 犯罪認知件数と検挙件数
 - イ 強行犯、暴力団関係、不良外国人の取扱状況
 - (3) 各種詐欺被害防止対策
 SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺等の被害に遭わないための方策

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容

外国人犯罪対策

 - (1) 情勢・傾向
 - ア 外国人観光客増加の影響
 警察の肌感覚では、外国人に関する取扱いが特段増えた実感はない。
 - イ 罪種別の発生傾向
 出入国管理法違反、薬物事犯等の特別法犯が増加
 - ウ 国籍別の検挙状況
 (ア) 全国的にタイ、ベトナムが大幅に増え、中国は緩やかに増加
 (イ) ベトナムが中国に代わって検挙件数最多
 (ウ) 都内ではウズベキスタンも激増
 - エ 浅草管内の情勢
 (ア) 全検挙の約2割が外国人で、うち約6割がベトナム人
 (イ) 外国人検挙の約4割が出入国管理法違反
 (ウ) 国籍によって、特別法犯又は粗暴犯が多い傾向に分かれる。
 - (2) 主な摘発・検挙
 - ア ベトナム人専用クラブ店（薬物事犯）
 - イ 解体業者（不法就労助長）
 - ウ 端緒から検挙まで
 (ア) いずれも地域課員の取扱いが端緒
 店舗付近に不審者との110番通報、外国人の傷病に関する取扱い
 (イ) 現場での事情聴取や不審点解明から、突き上げ、内偵等の捜査を経て、体制を組んで摘発
 - (3) レイシャルプロファイリング防止の徹底

- ア 公平かつ公正な職務執行
外国人の検挙が目立つものの、取扱いの際は偏見を排して公平かつ公正な職務執行を徹底している。
- イ 職務質問上の留意点
あくまでも客観的に、周囲との合理性から不審と判断した点について、徹底的な追及と説明を実施する。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 管内の現状について
 - ア 飲食業界は人手不足が深刻で外国人雇用が不可欠であるため、組合主催の勉強会に参加し、雇用上の留意点について専門家の指導を受けている。
 - イ 浅草の路上で外国人男性が日本人女性に声を掛け、付いて回る姿をよく見掛けるので、ロマンス詐欺が身近な生活圏内にも及んでいる実感がある。
 - ウ 刃物も販売しているので、ふざけて商品の刀を振り回す外国人には警戒しているが、そこに薬物が関与するとなおさら不安になる。
 - エ 浅草界隈にあふれる外国人の様相に、昼間は観光客、夜間は薬物使用者という変化があるならば怖いことだ。
 - (2) 今後の対策について
 - ア 浅草の持つ「盛り場」という特徴が悪用されている結果が、薬物事犯の増加ではないか。「入り口」である出入国管理法違反の取締りを強化してほしい。
 - イ 外国人が身近な存在になって、コミュニケーションを入口とした犯罪の発生も肌で感じられるため、町会等で防犯カメラを増やして抑止力を高めたい。
 - ウ 差別や偏見を忌避するあまり職務質問が消極的にならないよう、市民の正しい理解が必要だ。協議会として、警察官の職務執行力低下を防ぐ役割を担いたい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第1回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年06月13日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所 浅草警察署 講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 1名

内 容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況について
前年同期と比較して、都外からの観光客や来日外国人の増加に伴い、拾得、遺失、返還のいずれも取扱件数が増加
- 2 交通事故発生状況について
 - (1) 自転車の重傷事故発生を踏まえた対策
ア ヘルメット着用促進に向けた広報
イ 自転車の違反に対する指導取締りの強化
 - (2) 発生の顕著な傾向
ア 昨年同期との比較
貨物車の事故関与率が著しく増加
イ 発生増加の要因
インバウンド需要の増加で商品積み卸し用の貨物車の乗り入れが増加
- 3 警備実施結果について
 - (1) 祭礼に伴う警備実施
ア 石濱神社御鎮座1300年大祭
イ 玉姫稲荷神社例大祭
 - (2) 自主警備員と連携した部隊活動
ア 神輿渡御中の交通事故防止
イ 観衆の雑踏事故防止
- 4 地域警察活動状況について
 - (1) 110番通報
人流増加の影響により、昨年同期と比較して増加
 - (2) 特命班の成果
ア 本年2月「地域課特命班」発足
イ 薬物事犯、銃刀法違反等を連続して検挙
- 5 犯罪の発生状況について
 - (1) 管内の犯罪情勢
ア 犯罪認知件数と検挙件数
イ 強行犯、特殊詐欺の検挙状況
 - (2) 各種詐欺被害防止対策
リフォーム詐欺、点検詐欺等の被害に遭わないための方策

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
三社祭（浅草神社例大祭）警備実施結果について
 - (1) 浅草署管内の警備
ア 各種警備実施が年間400件に及ぶ。
イ 特に多いのが雑踏警備で、三社祭警備はその代表格
 - (2) 当署の取組
ア 関係団体との連携
長期にわたる奉賛会、浅草観光連盟、浅草寺等との協議
イ 警備方針の確立
(ア) 開かれた祭礼
神輿の担ぎ手の同好会の全面的な受け入れ
(イ) 反社会的勢力の徹底排除
自主警備、部隊体制の効果的運用に係る綿密な計画
 - (3) 実施結果
ア 警備の完遂
あらゆる状況を想定して機動隊の運用を増強した結果、大きなトラブルの発生なく警備を終了した。

- イ 反省と対策
警備実施上の細かな反省点を来年の警備に生かすとともに、反社会的勢力の動向を引き続き注視していく。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 祭礼の現状
 - ア 祭礼を維持するためには、町会だけでは神輿の担ぎ手が足りず、各地の同好会の参加が必要であるところ、同好会ごとに、また、地元の各町会でも、協力度合いに温度差があり、現場の運用に苦慮することがある。
 - イ 従来からの「お祭り騒ぎ」を好む者に加えて、SNSの普及により観衆が祭りの過度な盛り上がりを期待する傾向がある。
 - ウ 祭礼の風情として、例大祭最後の「宮入り」では警備体制を縮小し、余韻ある情景に浸りたいとの要望もある。
 - エ 韓国・梨泰院の事故を受け、全町会が、幅員に際限がなく制御困難な幹線道路を避け、安全確保可能な道路をルートとして警察に許可申請するようになった。
 - (2) 今後の対策
 - ア 各町会がそれぞれの流儀で神輿担ぎや御酒所設営を行うため、個々に応じた道路使用状況の確認を行い、トラブル発生の防止策を講じる必要がある。
 - イ 担ぎ手が本社神輿に力づくで接近を試みる状況もあるので、提灯を維持して神輿を納める祭礼本来の目的を達成し、各種トラブル事案等を回避するためには、適切な警備体制が求められる。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和05年度 第4回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年03月14日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況について
観光地の特性上、都外からの観光客、来日外国人ともに増加し、拾得、遺失、返還いずれも取扱件数が増加している。
- 2 交通事故発生状況について
 - (1) 各種取締りの強化
昨年、管内で交通死亡事故が3か月連続発生したことを受け対策を強化
 - (2) 駐車監視員活動ガイドライン
検討の結果、昨年同様に策定し、駐車車両の取締りを推進
- 3 警備の実施結果について
 - (1) 浅草寺初詣警備
来日外国人観光客によるドローン飛行事案を取り扱ったが大事に至らず。
 - (2) 浅草寺節分会警備
警視庁初となるカメラを搭載したドローンによる上空からの警戒警備を実施
 - (3) 震災時外国人及び観光客帰宅困難者避難訓練
ア 浅草観光連盟の主催により浅草寺周辺一帯で実施
イ 当署警備課員が自衛隊、消防とともに参加
- 4 地域警察活動状況について
 - (1) 110番通報
通報内容は多岐にわたっている。
 - (2) 特命班の編成
当署独自の精鋭部隊が集中的に検挙活動に従事し、成果を上げている。
- 5 犯罪の発生・検挙、被害防止について
 - (1) 管内の犯罪情勢
ア 犯罪認知件数と検挙件数
イ 強行犯事件、窃盗事件の検挙状況
 - (2) 特殊詐欺被害対策
ア 管内の被害認知件数と被害金額
イ 被害に遭わないための方策

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
電動キックボード等の現状について
 - (1) 車両の種別と特性
ア 車両の仕様により分類され、それぞれ運転上の法的義務が異なる。
イ 電動アシスト付自転車と外観上区別がつかないものもある。
 - (2) 課題と対策
ア 現状と課題
(ア) 現段階では普及が先行し、法整備、取締りが後追いの状態
(イ) 自転車と並行してヘルメットの着用推進が喫緊の課題
イ 関係者との連携・協働
(ア) 販売取扱店舗
購入者に対する教示の徹底
(イ) ホテル旅館業、観光案内業
ドローン規制同様、外国人宿泊客に対する運転上の注意喚起
ウ 情報発信の強化
交通安全教室の開催、指導取締りの強化等を通じて情報を発信し、安全対策の周知を図る。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 特性と問題点
ア それぞれの車両がどの安全規則に適用するのか理解が困難

イ 利用するハードルは低いが構造上、ヘルメットを着用しないと頭部損傷の危険性が高く、重傷事故につながるケースがある。

ウ ポートの駐車車両の整備状態が良くないことがある。

エ 自動車を運転していると、自転車以上に方向変換の兆しが捉えにくく不安

オ 外観上電動アシスト付自転車と区別しづらいモペット等は、取締りを受けにくく、遵法精神が緩みがち。

(2) 危険性への不安

ア マンション管理人としてポート設置の依頼を多く受けるが、法整備が追いつかない現状で、歩道も車道も人があふれる中を自由奔放に走行する危険な乗り物を敷地に置かせることに躊躇する。

イ 普及させる側は、最低限のルール提示のみで利便性をアピールし、利用促進に偏る傾向があるため、利用者の規範意識が追いつかず危険を生じている。

(3) 必要な対策

ア ルール周知と広報啓発

(ア) 講習会の開催など確実に正しい知識を行き渡らせる仕組み

(イ) 事故事例の紹介等による危機意識の醸成

イ 普及させる側の義務

(ア) 管理会社等の確実な車両点検による違反や事故の抑止

(イ) より高度な注意喚起、警告表示の義務化

ウ 法整備によるルール強化

(ア) 事故、違反データ蓄積による法整備促進

(イ) 抑止効果を期した罰則強化

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和05年度 第3回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年12月06日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所 浅草警察署 講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 1名

内容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況について
観光地の特性から、免許証、旅券、訪日外国人向け「ウェルカムSuica」等の拾得、遺失の取扱いや返還手続きが多い。
- 2 交通事故発生状況について
(1) 管内において3か月連続で交通死亡事故が発生した。
(2) 高齢者対策と併せて自転車に対する指導取締りを強化している。
- 3 警備の実施結果と年末年始警備の万全について
(1) 「西の市」等の人出は、コロナ禍前より増加している。
(2) 年末年始の浅草寺警備
西の市警備等の結果を検証し、明治神宮の参拝者を超えるとも言われる警備の万全を期す。
- 4 110番受理状況について
(1) 通報は多岐にわたり、迅速な臨場に努めている。
(2) 年末年始の通報増加に備えて「見せる警戒」による犯罪抑止を徹底する。
- 5 犯罪認知件数について
(1) 重点指定している罪種
(2) 管内の発生件数と検挙件数
(3) 自転車盗の被害防止

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
特殊詐欺対策について
(1) 被害発生状況
ア 認知件数と被害額
昨年比で認知件数は減っているが、被害金額は3倍以上に増大
イ 手口の特徴と傾向
(ア) 「オレオレ詐欺」が最多
(イ) 最近サポート詐欺や還付金詐欺の増加が顕著
(ウ) キャッシュカードの「詐欺盗（厳密には詐欺ではなく窃盗に該当）」の発生も多数
(2) 被害防止対策
ア 広報啓発活動の実施
(ア) 台東区及び区内4警察署による「生活安全のつどい」
(イ) 商店街と連携した被害防止キャンペーン
(ウ) 犯罪抑止アドバイザー、メール警視庁等を活用した効果的な情報発信
(エ) 動画サイト掲載、学校訪問等による啓発
イ 被害直前に阻止する「水際対策」
(ア) 「ホットライン通報」の活用
(イ) コンビニ店員によるサポート詐欺の看破
(ウ) 被害発生ATMにおける常時警戒
(エ) アポ電入電時の増強配備体制
ウ 各種検挙対策
(ア) 現場設定による犯人検挙
(イ) 犯行グループの突き上げ捜査による上層部の検挙
(ウ) 日常の不審点を端緒としたアジト摘発
(3) 闇バイトの危険性
ア 目先の欲望から安易に飛びつく若者が多数
イ 一度犯行グループのテリトリーに入ると、抜け出すことは極めて困難
- 2 警察署協議会からの意見要望等
(1) 特殊詐欺対策

ア 偽メールへの対応

(ア) 荷物等の問合せメールには、心当たりがあるため安易に対応しがちだが、急いでいる時こそ、うっかり返信してしまわないよう注意が必要である。

(イ) 事業主は氏名や住所を広く公開しているため、大手銀行を装ったホームページへの誘導メール等が大量に送信されることから、労力を要するが、真偽の見極めを慎重に行わなければならない。

イ 高齢者の被害防止

(ア) 創意工夫にあふれた広報啓発でも、高齢者は忘れやすく、無防備になりがちなので、繰り返し、粘り強く周知していくことが必要である。

(イ) 独居高齢者に対し、官民一体、街ぐるみで注意喚起するため、新しい犯行手口等をどんどん教示してほしい。

(2) 闇バイト対策

闇バイトの危険性について、すでに広報啓発が盛んに行われているところ、応募してしまった後に闇バイトと気づいた場合、指示された場所に赴いたり、犯行に加担したりする前に確実に警察に申告させる仕組みの構築が必要ではないか。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和05年度 第2回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年09月22日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 拾得遺失物取扱状況について
観光地という特性から、夏休みを利用しての他府県からの旅行者、海外からの渡航者による扱いが多く、返還業務に苦慮した。
- 2 交通事故発生状況について
(1) 自転車利用者をはじめ全体的に交通事故が増加傾向にある。
(2) 管内では3年10か月ぶりに死亡事故が発生した。
- 3 隅田川花火大会警備等実施結果について
(1) 主催者の発表によると来場者は103万人であった。
(2) 前回開催の令和元年と比較して、けんか口論、交通連絡、拾得遺失物等の各種取扱件数の総数が約3倍に増加した。
- 4 110番受理状況について
泥酔者、傷病人、事故、事件といった多岐にわたる通報に対し、迅速に臨場し着手している。
- 5 犯罪認知件数について
(1) 重点指定している罪種
(2) 管内の発生件数および検挙件数
- 6 特殊詐欺対策について
(1) 被害は、届け出を受けて認知しているもの以外にもある。
(2) 電話やメールのやりとりで金銭の話が出てきたら必ず詐欺を疑うように引き続き広報啓発活動を推進する。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
災害対策について
(1) 震災対策
ア 警察力の確保
(ア) 突発対応訓練として参集訓練を実施
(イ) 管内の被害状況確認及び報告
(ウ) 要救護者の対応
(エ) 大量歩行者の誘導等
イ 東日本大震災時の概況
(ア) 発生当時の管内の状況
(イ) 警察による各種取扱状況
(2) 水害対策
ア 荒川破堤時の浸水状況
ハザードマップが示す管内各区域における浸水時の水深
イ 発生時の避難対策
管内災害発生時避難箇所及び帰宅困難者の一時滞在施設の紹介
(3) 今後の課題
ア 震災対策の継続
イ 水害ならではの垂直避難に特化した官民連携の意識強化と訓練の実施
- 2 警察署協議会からの意見要望等
(1) 災害発生時是对応に追われる警察を頼るだけではなく、参集訓練を模範として、住民でできることを考えなければならないと感じた。
(2) 最近の浅草は観光客が激増し、渡航者も多い。観光地における避難訓練を地域ぐるみで繰り返し実施することが必要である。
訓練を通じて、言語問題、高層建物共用部の一時避難利用等の課題を解決していきたい。
(3) 水害発生時は地表が水で覆われ、震災訓練のほとんどが通用しないので、水防特有の訓練が必要である。

[その他の意見要望等]

警察署では、交通や防犯等の各部門ごとの講習会や会議は実施している。今後は、テーマについて、各部門や消防等の他機関と合同の総合的な会議を開催すると効果的ではないか。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和05年度 第1回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年06月13日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所 浅草警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 1名

内容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策について
 - (1) 春の全国交通安全運動実施結果
運動期間中における管内交通人身事故の発生件数と負傷者がいずれも軽傷であった旨を説明した。
 - (2) 署独自キャラクターの策定
当署の交通課女性警察官が発案し、警務課女性警察行政職員がデザインを手がけた、自転車ヘルメット着用啓発キャラクター「かぶる～くん」について説明した。
ヘルメットを「かぶる」にかけ、野菜の「カブ」をモチーフとしたキャラクターで、作成したステッカーを交通安全キャンペーン等で配布し、マスコミ数社が活動を報じた旨を報告した。
 - (3) ガイドラインの拡大
駐車監視員活動ガイドラインについて説明した。
- 2 特殊詐欺被害防止対策
 - (1) 特殊詐欺被害発生状況
4月中特殊詐欺被害発生状況について説明した。
 - (2) 犯行手口の説明
息子騙りのオレオレ詐欺について、犯人との具体的なやりとりや会話の内容について説明した。
引き続き、犯人からの電話に出ないことや、留守番電話・自動通話録音機の活用の徹底について依頼した。
- 3 警備実施結果等について
 - (1) G7広島サミット、浅草神社例大祭（三社祭）警備実施結果
 - (2) 隅田川花火大会警備に向けた取組等
4年ぶりに開催される隅田川花火大会警備については、台東区等関係機関と連携をとりながら、雑踏事故防止対策やテロ対策など各種警備の徹底を図る旨説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
自転車盗難防止対策の推進について
 - (1) 自転車盗難の認知状況
令和4年中の窃盗犯認知件数
 - (2) 被害自転車の施錠状況
自転車盗発生件数のうち施錠の有無について
 - (3) 地域別被害状況
窃盗犯認知件数（町丁別）
 - (4) 検挙状況
令和4年中の窃盗犯検挙件数
 - (5) 盗難防止対策
ア 各種キャンペーン等における広報啓発
イ 集合住宅等の管理者対策
 - (6) 今後の課題
広報啓発活動の強化
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 放置自転車が盗難されるケースも多いため、駐輪場を充実させてほしい。
 - (2) 施錠していても盗まれる場合もあるが、盗まれやすい、また、盗まれにくい施錠設備について知りたい。
 - (3) 高価な自転車については、2重ロックが有効である。

- (4) 注意喚起のチラシを町会やマンション掲示板等で回覧したい。
- (5) 「自分の財産は自分で守る」という意識が重要であり、こうした意識を子供にも教育していくことが必要である。

[その他の意見要望等]

委員から、「自転車の交通違反について、大人でも道路交通法をよく理解していないので、自転車の乗り方を住民に教える機会を設けてほしい。」との意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第4回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年03月02日 午後03時50分～午後05時10分

開催場所 浅草警察署 講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 1名

内容

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策について
交通事故発生状況、自転車ヘルメット努力義務化、春の全国交通安全運動等
- 2 特殊詐欺被害防止対策について
特殊詐欺被害発生状況、警察署独自の防犯対策等
- 3 警備実施結果等について
初詣警備実施結果、節分会警備実施結果、東京マラソン警備に向けた取組等

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
警務課の業務推進状況について
 - (1) 警務課の任務
 - (2) 広報・採用業務の取組状況
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 街の人に警察を身近に感じてもらえるような体験や見学をもっと推進してもらいたい。
 - (2) 子供だけでなく大人にもアピールできるような、キャラクターを使用した広報を行うと良い。
 - (3) サッカーやバドミントン等、柔剣道以外のスポーツを通じた警察との交流の場を設けてほしい。
 - (4) 警察官には、子供たちに対して積極的に声を掛けてもらいたい。特に、小学生の登下校の時間帯には、交番に立って挨拶をしてもらいたい。
 - (5) 体力に自信がなくても警察職員への夢を諦めないよう、サイバー犯罪捜査のような専門的な分野について、もっと広報したり直接話を聞くことのできる座談会を開催したりすると良いと思う。

[その他の意見要望等]

委員から、「浅草観光連盟主催の『浅草地域帰宅困難者及び外国人観光客対応訓練』が実施され、浅草警察署からは署長をはじめ警備課が訓練に参加する予定である。協議会委員にも是非参加してほしい。」との呼び掛けがあった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。